



## くしろ「木づな」プロジェクト

[平成 29 年度事業報告・平成 30 年度事業計画]

# 要旨

釧路森林資源活用円卓会議は、平成 22 年度の発足から 26 年度の 5 年間で「第 1 期」、平成 27 年度以降を「第 2 期」として、森林・林業・木材産業に関わる方々と歩みつけて 9 年目を迎えました。

私たちは、川上部門での高性能林業機械等の活用による森林施業の低コスト化、川下部門での地域材を活用した商品開発等による森林資源の需要拡大といった取組を通じ、森林資源の循環利用を目指しております。

また、広大な森林と都市機能を併せ持つ釧路市において、大人から子供まで広く取組への理解を醸成し、活動全体の底上げを図るため、木育イベントをはじめとした森林・林業・木材産業に関する普及啓発活動を実施しております。

平成 30 年度は、上記の活動を発展させながら、発足 10 年目を見据えた活動を合わせて行ってまいります。

## 目次

要旨	2
平成 29 年度事業報告	3
○課題解決に向けたロードマップ	4
平成 30 年度事業計画（案）	5

### 釧路森林資源活用円卓会議について

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。人口 10 万人、森林面積 10 万 ha を超えるのは全国で 3 市のみと、まさに釧路市は「森林都市」（森林率 74%）と言えます。

この「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を H22.11 設置(川上部会 H22.12、川下部会 H23.2)しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

# 平成 29 年度事業報告

平成 29 年度の活動状況は次のとおりです。

## <もっと知る>

川上部門	・先進造林機械による再造林技術検討会（概要表No.1）
川下部門	・カラムツ積層成形合板による椅子製作見学会（概要表No.2） ・林産技術セミナー「道産材の付加価値向上に向けた技術」（概要表No.3）

## <もっと使う>

公共建築物	・釧路市中央図書館地域材什器（概要表No.4） <b>【資料1】</b>
民間建築物	・民間建築物への活用促進に向けたP R活動
商品開発	・Karadeco プロジェクト（概要表No.5）

## <もっと伝える>

研修会の開催	12/6 高校生を対象とする「じもと×しごとフェア」出展（概要表No.6） 3/13 高校生を対象とする企業説明会出展（概要表No.7）
域内利用の取組	・各種イベントへの出展（概要表No.8～17） 1/30 大人の木育教室（概要表No.18） <b>【資料2】</b> ・イトーヨーカドー釧路店において釧路産木製品の展示 ・木づなショーケースの改良
域外利用の取組	・域外での展示 →1/30～1/31 モクコレ 2018（東京ビッグサイト） くしろ木づなショーケース及び釧路関連企業木製品の展示 ※丸善木材(株)、札幌ベニヤ(株)、田家木材(株)、エステー(株) →2/14～2/15 住宅建築資材展示卸売会（アクセスサッポロ） くしろ木づなショーケースの展示 →2/21～2/22 2018 住設建材フェア（アクセスサッポロ） くしろ木づなショーケースの展示 ・常設展示（継続） 管外：道庁本庁舎 1F（学習机、イーゼル）

## ○課題解決に向けたロードマップ

平成 26 年度の円卓会議で「第 2 期の展開方向（平成 27～29 年度）」を示し、これまで取組を進めてきました。平成 30 年度以降は、新たに顕在化した課題を加えて、「課題解決に向けたロードマップ」とおり取組を進めることとします。

### ■ 第 2 期の展開方向（平成 27～29 年度（H26 一部先行実施））と新たに顕在化した課題

分野	第 2 期の展開方向	新たに顕在化した課題
全般		・森林環境譲与税の導入への対応
川上	・路網整備モデルの検討 ・シカ対策のコスト削減の検討	・担い手の確保 ・森林資源の齢級構成の平準化 ・活着性に優れ風倒に強いコンテナ苗の導入
川下	・管外の取組との連携をはかる ・外部の視点を導入する ・技術センターがコーディネート機能に重点を移していけるようなしくみをつくる	・建築関連での木材活用底入れ 〔内外装への限定利用から構造材への積極利用の推進〕 ・住宅や店舗・事務所建築での木材利用の推進 ・製造者やユーザーからの発案による製品開発の推進
普及啓発	・常設展示場などの普及手段を増やす ・森林とのつながりがある活動を実施 ・木育など、様々な切り口でアプローチ	・「なぜ地域材を使用するのか」という消費者理解の醸成 ・カラマツ・トドマツの認知度向上

### ■ 課題解決に向けたロードマップ（平成 30 年度～）

分野	課題	H30	H31	H32～
全体	森林環境譲与税の導入への対応	使途検討 [検討会開催]	予算化	基金の創設・財源の活用
川上	担い手の確保	釧路地域林業・木材産業担い手確保推進協議会と連携 [企業説明会への出展 など]		
	森林資源の齢級構成の平準化	市有林管理の長期的方針の検討	検討報告	一般民有林への普及
	路網整備モデルの検討 コンテナ苗の導入	市有林での導入検討 研修会・現地検討会の開催	市有林での試験導入	市有林での本格導入
川下	建築関連での木材利用	木材利用の実態把握	建築向け地域材流通の拡大検討 市営牧場木造牛舎の設計・検討 民間の木造・CLT 建築の提案活動	H33～施工
	製品開発の推進	研究会結成	コンベなどの取組企画	試作・製品化
普及啓発	消費者理解の醸成（域内利用の取組）	大人の木育	メイドン	...
	域外利用の推進 P R	継続的な普及 P R 活動 モクコレ 中国・韓国～海外へ...		

# 平成 30 年度事業計画（案）

平成 30 年度は次のような活動を実施予定です。

## ■ 市施策関連

森林環境譲与税の導入への対応	森林環境譲与税を財源とした釧路市における林業・木材産業の課題解決に向けた活用策の検討 <b>【資料 3】</b>
----------------	--

## ■ 川上部門

担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の確保を目的とした説明会への出展</li> <li>→<b>釧路合同企業説明会【資料 4】</b></li> </ul>
森林資源の齢級構成の平準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有林管理の長期的方針の検討</li> </ul>
路網整備モデルの検討 コンテナ苗の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有林での導入の検討</li> <li>・業界内のスキルアップを目的とした研修会の実施 <b>【資料 5】</b></li> </ul>

## ■ 川下部門

建築関連での木材利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営牧場木造牛舎の設計（平成 33～34 年度竣工予定）</li> <li>・建築関連での木材利用の実態把握</li> <li>・住宅や店舗・事務所の木造・CLT 建築の提案活動</li> <li>→<b>JAS 構造材個別実証支援事業【資料 6】</b></li> <li>・木構造に関する講演会の開催（建築事務所協会と連携）</li> </ul>
製品開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有志による木工研究会の結成</li> <li>・製品のアイデアコンペなどのイベント企画</li> <li>→<b>A 材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発事業【資料 7】</b></li> </ul>

## ■ 普及啓発活動

消費者理解の醸成 (域内利用の取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント参加、展示会開催</li> <li>→<b>平成 30 年度事業イベント等実施スケジュール【資料 8】</b></li> <li>・常設展示 イトーヨーカドー釧路店 3F で継続実施中(3ヶ月更新)</li> </ul>
域外利用の推進 PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道「道産木材製品プロモーション事業」への参画</li> <li>…ブランド戦略検討会、道外・海外向けプロモーション活動など</li> </ul>